

岩沼市水道事業経営戦略（案）に対するパブリックコメントの結果

	ご意見内容	市の考え
1	<p>水道事業は我々住民にとって非常に重要で大切なものです。特に上水の身体への安全性の確保は欠かせないものです。県で、2022年に実施された民間への管理運営方式移行には大きな不安があり賛成できませんでした。</p> <p>岩沼市ではこの方式はとらず、市が運営の主体となる事を望みます。 以上</p>	<p>本市の水道事業の運営に関しまして、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、宮城県では令和4年度より「みやぎ型管理運営方式」として、上水・工業用水・下水道を一体的に官民連携で運営する方式が導入されました。県が示す資料によれば、この方式は人口減少や施設老朽化に伴う経営課題に対応するため、民間の技術力や投資を活用し、長期的な効率化を図ることを目的としています。一方で、市民の皆さまからは、災害対応や水質管理、料金の透明性などに関して不安の声が寄せられていることも承知しております。水道は公共性が極めて高く、安心・安全の確保が最優先であることから、こうしたご懸念は大変重要なものと受け止めております。</p> <p>水道は市民の皆さまの生命と生活を支える極めて重要なインフラであり、安心して良質な水道水を安定して供給することは、行政として最も重視すべき責務であると認識しております。</p> <p>本市におきましてもPPP/PFI（コンセッション）管理運営方式の導入につきましては、制度内容や効果、リスク等を慎重に見極める必要があると考えており、住民の皆さまのご意見を踏まえながら、引き続き市として最適な水道事業のあり方を検討し、必要に応じて情報提供や説明を行ってまいります。</p>